

第5節 豊かな科学的素養を身に付ける

21世紀の社会の持続的発展を維持する上で、科学技術は極めて重要な役割を果たすものです。子どもたちの、科学技術離れの傾向が指摘される中、理科や科学技術に対する興味・関心を高めて、科学的なものの見方や考え方などの科学的素養を身に付けることが重要となっています。

このため、学校や地域において科学技術に造詣の深い専門家の話を聞いたり、先端的な科学技術等に触れる機会を設けるなど、科学に対する子どもたちの興味・関心を高めるとともに、積極的に問題解決的な学習や体験的学習を取り入れ、理数教育や科学技術に関する学習の充実に努めます。

(5) 豊かな科学的素養を身に付ける

理数教育の充実・科学技術教育に関する学習の振興
最先端の科学技術に触れる機会の拡充

項 目	具体的施策の方向
理数教育の充実・科学技術教育に関する学習の振興	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 探究的・体験的活動を通じた科学的素養の育成 児童生徒の能力・適性、興味・関心等に応じ、問題解決的な学習や体験的学習を通して科学的に調べる能力・態度を育て、科学的なものの見方や考え方などの豊かな科学的素養を育成する教育を推進します。 ▶ 指導法の改善充実 観察・実験や課題学習などを通して児童生徒の知的好奇心や学習意欲を高め、理科や科学技術を好きになる指導の工夫改善に努めることなどにより、理数教育の一層の充実に努めます。
最先端の科学技術に触れる機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 先端的な各種研究・学習施設等との連携 豊かな創造性を培い、科学技術への正しい理解を深めるため、先端的な各種研究・学習施設等との連携を図るとともに、科学技術に造詣の深い研究者等との交流を通して、子どもたちが楽しみながら最先端の科学技術に触れることのできる機会の拡充に努めます。